

ほけんだより 6月号

2023年6月 NO.3
聖星保育園

ここ最近、朝は涼しくても、日中 30℃近くまで上がる日、連日雨が降る週もあつたりと、気候についていけず、体調を崩しやすい時期でもあります。6月は梅雨の季節になります。蚊も多くなってきます。ジメジメとした天気には汗をかくことであせもや身体がかゆくなったり、虫さされから化膿しとびひになったり肌トラブルが増えてくる時期でもあります。特にこの時期から夏にかけて、季節にあった服装選びやこまめに肌の観察をするように心がけましょう。

夏になると水遊び・プールが始まります。とびひや膿んでいる傷があると水遊びやプールに参加はできません。6月中に皮膚の状態を整えておきましょう。

虫対策・紫外線対策について

保育園での虫よけシール・かき壊し防止のためのパッチ（ムヒパッチ等）の使用はお控えください

虫除けシールは背中等本人の手の届かない所に貼っていても、お友だちが後ろからはがして口に入れてしまうなどの恐れがあるので、虫よけシールの使用をお控えください。

同様にかき壊し防止のためのパッチも汗などではがれて、口に入れてしまう恐れがあります。もし、かき壊してジクジクしている場合は絆創膏やガーゼで覆い、お預かりの際に保育者にお伝えください。

9ヶ月以上の園児で入園時に使用許可をいただいている場合は、担任の判断で散歩の前などに市販の虫除け剤を使用していきます。



紫外線対策

外で遊び自然と触れ合うことは、心身の発達上とても大切ですが、一方で、子どもの時に浴びる紫外線量は生涯のうちで最も多いとのこと。

戸外では帽子をかぶる、ノースリーブではなく長めの袖の服を着る、日陰を選んで歩く、日焼け止めクリームを使用するなど、適切な対策がとれるといいですね。

☆日焼け止めクリームを使用される場合は、朝、保護者の方が塗ってください。

蚊にされたとき

患部を水で洗い、冷やしたりムヒやポリベビーなどを塗って対応します。

腫れや赤みが強いとき

塗れたタオルや保冷剤等をあてて炎症や痒みを緩和します。

子どもがかきむしったため、血や浸出液が出ているとき

止血した後ムヒやポリベビーなどを塗り、絆創膏やガーゼで保護します。



新型コロナウイルス感染症(5類) 保育園での対応

5月8日のお手紙でお知らせしたとおり、以下のようになります。

登園の目安

発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快したあと1日を経過するまで

◎発症日(熱や症状のあった日)を0日目とします。症状の有無に関わらず、少なくとも5日目まで保育園のお休みが必要です。

◎症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ呼吸器症状(咳や息苦しさ等)が改善傾向にある状態をいいます。

◎陽性が判明したら、保育園に連絡をしてください。他の感染症同様、症状が出た日・最短でいつまでお休みが必要か電話で確認をします。

感染する期間

新型コロナウイルス感染症は発症の2日前から発症後7~10日はウイルスを排出しています。特に5日間が他人に感染させるリスクが高いため注意が必要です。

濃厚接触者の定義がなくなります

新型コロナに関わらず感染症の場合は数日で家族内での感染が多くみられます。家庭で保育ができる場合はご兄弟もお休みのご協力をお願いしています。ご事情によりご兄弟が登園される場合もお子さんを家や車内に一人で留守番をさせることのないようにしてください。また、保護者が陽性の場合も送迎はご遠慮ください。(ご事情があるかたは事前にご相談ください。)

登園するとき

医師の意見書が必要です。再登園の際は朝の受け入れの際に、必ず手渡しで提出してください。意見書は保育園ホームページからもダウンロードできます

季節性インフルエンザ

新型コロナウイルス感染症同様、5月よりインフルエンザA・インフルエンザBは**医師の意見書**の提出が必要になります。

子どものマスク着用

個人の主体的な選択を尊重し着用は個人の判断に委ねます。熱中症のリスクが高いと考えられる場合や、身体を動かすことの多い屋外での保育・本人の調子が悪い場合や持続的なマスクの着用が難しい場合は、外します。

保護者・職員のマスク着用

個人の主体的な選択を尊重し着用は個人の判断に委ねます。



今後も「保育所における感染症対策ガイドライン」に基づいて園内の消毒・換気・手洗い・手指の消毒等を行ってまいります。他の感染症同様、園内で発症した場合は玄関に掲示をしていきます。

保育園は集団生活の中で様々な感染症が広がりやすい場でもあります。同時に仲間と共に成長する場でもあり、保育園だからこそできる経験がたくさんあります。お子さんの体調面では判断が難しいこともたくさんありますが、皆さまが気持ちよく通える保育園であるようにご協力をお願いします。